

民衆の声
ボイス

No.100

VOICEよこはま

公明党 横浜市会ニュース

http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com 公明党横浜市会議員団 〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10 TEL.671-3023 FAX.681-2060

若者の“イイネ”が政治を動かす! 街頭で青年の声を聴く



公明党青年委員会は、桜木町駅前前でアンケート運動「ボイスアクション(VA)」を展開しました。山口那津男代表とともに三浦のびひろ党青年局長が参加し、道行く「未来のつくりて」である若者たちに呼び掛け、ボードに示された5つのビジョンから“イイネ”と思う項目にシールを貼ってもらいました。

ボイスアクションの5つのビジョン

- 1 命と暮らしの安心保障を全ての人に!
- 2 個人の幸福が感じられる経済成長や働き方に!
- 3 “ありのまま”が輝く多様な社会に!
- 4 “地球の未来”を守る日本に!
- 5 “あなた”の声が届く政治や行政に!



声が“カタチ”に

公明党が過去に行った3回のボイスアクションでは、1000万人を超える若者の声が寄せられ、各政策を着実に実現させる力になりました。幼児教育の無償化、携帯料金の削減や奨学金の返済支援、非正規雇用の待遇改善や不妊治療の保険適用など、数々の声を“カタチ”にしています。

ロシア非難決議

3月23日の定例会最終日には横浜市会の総意として、「ロシアによるウクライナ侵攻を非難し、国際紛争における武力行使の根絶を求める決議」を、全会一致で採択。ロシアによる国際法・国連憲章への重大な違反、多くの民間人の犠牲について糾弾し、即時の攻撃停止と撤退を要求。政府に対して国際社会との連携と避難民受け入れの推進、全ての国連加盟国に対して国際紛争解決へ武力の行使を行わないよう要請しました。



本会議場で起立採決



市庁舎をウクライナカラーにライトアップ

望月やすひろ通信 市政報告 Vol.55



横浜市議員(港北区選出) 望月やすひろ

■公園愛護会
本市には街区公園、近隣公園、地区公園や緑道などの身近な公園が約2600箇所あり、市内公園の約9割には、公園愛護会が結成され、公園の清掃や草取り、花壇づくりなど、日常的な管理を担っていただいています。そこで、持続可能な公園愛護会活動に向けた支援の取組について質問しました。



給水スポット



給水スポット



望月 康弘 委員 公明党 港北区

■マイボトルの推進
市民を対象とした環境に関する調査では、「マイバッグ、マイボトル、簡易包装などでごみを減らす」は8割以上の人が、「使い捨てプラスチック製品を出来るだけ使わない」は7割

マイボトルの推進

した。担当理事は、「今後は、公園愛護会がSDGsの目標のひとつである「住み続けられるまちづくり」にも貢献する取組であることを広くPRしながら、環境に関心を持つ市民や民間事業者の皆様が公園愛護会活動に参加していただけるよう取り組んでいきます」と答弁しました。

ふるさと納税

ふるさと納税を巡っては、全国の自治体が地域ごとの魅力あふれる返礼品をポータルサイトに掲載しています。その返礼品は、体験型が人気となり多くの寄附を集めているとのことです。そこで、横浜市が舞台となる映画やドラマのロケ地を巡るツアーなどと組み合わせられた体験型返礼品はどうかと提案しました。

副市長は、「4年度から新体制でプロモーションの強化も進めてまいりますので、ふるさと納税のPRとも連携させながら、横浜ならではの体験型の返礼品が生まれるように更に取組を進めてまいります」と答弁しました。

横浜市への故郷納税人気の返礼品

市内産品	体験型
<ul style="list-style-type: none"> 様々な茶葉セット (10種計34個) (横浜中華街 秋光楼) ハンバーグ＆万能牛そばろお取り寄せセット (ハングリタイガー) クリスマスローズ3号ポット苗5本おみつくりセット (花光園) シウマイ漁家セット (4種計48個) (尚陽軒) 	<ul style="list-style-type: none"> 故郷ランチコースペアご招待券 (横浜中華街 秋光楼) グ・カハラ・ホテル&リゾート 横浜 ゼ・カハラ・グランド・ハーバービュー1232食ペア宿泊券 横浜ロイヤルパークホテル スカイリゾートフロア「ゼ・クラブ」コンフォートスイートペアご宿泊券 (クラブラウンジ朝食付き) ホテルニューグランド 本館グランドデラックススイートルームペアご宿泊券 (朝食・室内ツアー付き)

救急相談センター

急な病気やけがで困ったら……。24時間365日体制で救急電話相談および、受診可能な医療機関の案内サービス。

赤ちゃんから高齢者まで

☎ #7119

令和4年 第1回定例会におおむね賛成した主要議案の概要

語れる公明党実績～令和4年度予算を巡る論戦より

防災・減災への備えをさらに強化

■浸水ハザードマップを全戸配布

- 風水害の激甚化に対応！
内水ハザードマップの時間降雨量を153mm想定に改訂
- 「内水」「洪水」「高潮」の各マップを1枚に
- 4年度に全戸配布が完了！



神奈川、金沢、栄の3区で全戸配布された浸水ハザードマップの残り15区における配布時期について確認したところ、上半期までに全区で配布完了を目指すとの答弁がありました。あわせて、避難行動計画となるマ

■学校体育館へエアコン設置

令和元年～3年度まで
エアコン・大型冷風機を61校に設置
令和4年▶エアコンを28校
大型冷風機を10校へ設置

■ブロック塀の改修促進へ

補助事業 **延長** 補助単価・上限額 **増額**
除却費用 13,000円/m←9,000円/m
生垣の設置 13,000円/m←3,000円/m
補助上限額 最大50万円←30万円

■消防団の充実強化へ

- 業務効率化へアプリ活用を試行
- 活動服・装備品の十分なストックと予算を確保



消防団員の活動服・装備品が不足しているケースがあることから、十分な予算確保を要望。副市長から、一定数量のストックを確保し速やかな貸与に努めるとの答弁がありました。併せて、デジタル技術を活用した業務効率化の推進を求めました。

行政のデジタル化推進を着実に

■マイナンバーカード普及促進へ

- 区役所の窓口を増設
マイナポイントの手続き支援も実施
- 申請サポート会場を設置
商業施設など市内14か所に増設
- 交付特設センターを増設
商横浜駅西口、センター北、上大岡に加え二俣川に新設



マイナンバーカード交付促進のため、区役所の窓口増設や交付専用の特設センターを市内3か所に設置していましたが、新たに二俣川に増設して、さらなる交付体制の増強を図ります。



■デジタル区役所のモデル事業推進

デジタル技術を活用した広報手段に加えて、災害時を想定した取組についても検討すべきと質問。デジタル統括本部長より、「Wi-Fi環境を活用した災害時の情報伝達、市民の皆さまの避難を支援するアプリの活用など、災害を想定した取組を検討する」と答弁がありました。

■行政運営における最新技術の活用

市長が掲げる「歳出改革元年」に当たって、行政運営におけるAI等の最新技術を活用した見直しも検討していくべきと質問し、市長より「積極的に最新技術を活用し、新しい発想で事業手法を見直すとともに、データを用いて事業効果を見極め、選択と集中など、歳出改革に取り組む」と答弁がありました。

誰もが安心して暮らせる街へ

■バス路線へ乗継割引導入を提案

地域交通の更なる充実に向けて、複数のバス等の交通手段を乗り継ぐことを前提にし、運賃割引の仕組みを検討すべきと提案しました。都市整備局長は「バス路線の再編に伴う乗継拠点や、乗継割引の検討などを進める」と答弁しました。

■小児がん対策の推進

治療後も含め、それぞれの成長に応じた対応が求められる、今後の小児がん対策を質問しました。医療局長は、小児科以外の診療科やクリニックとの連携も深め、治療中、治療後の心理的、社会的な課題について、関係局や外部機関とも連携し取り組むと答弁しました。



久保 和弘 (瀬谷区選出)



尾崎 太 (鶴見区選出)



■「医療的ケア児」支援を拡充

- 福祉車両での通学支援 → 車両：7→20台
- 学校への訪問看護師派遣 → 対象：17→29人
- 肢体不自由特別支援学校への看護師配置 → 配置：30→35人



斉藤 伸一 (保土ヶ谷区選出)

■子宮頸がん予防へ

4月から子宮頸がんワクチン公費接種の積極勧奨が再開され、国が勧奨を控えていた期間に対象となった方(H9年4/2～H18年4/1生まれ)にも公費接種の通知を郵送します。同時に子宮頸がん検診を受診することも大変重要なため、受診率向上への取組を求めています。



福島 直子 (中区選出)

教育環境をさらに充実、子育てを力強くサポート

■「放課後児童クラブ」支援を拡充

- 支援員等の給与を月額9,000円アップ
- 職員の事務や雑務に対する加算を新設
- 医療的ケア児のための看護師配置を支援

さらに
・事務を簡略化して保護者負担を軽減
・職員の確保・育成に関する支援を拡充

■児童虐待防止へ

- 「子ども家庭総合支援拠点」を全区設置！
- 4年度8区に設置して、全区配置が完了へ！
- 横浜東部方面に新たな児童相談所を設置へ！(市内5か所目)

■保育士の処遇を改善

- 新規** 全ての保育士の給与を月額9,000円アップ
- 継続** 経験年数7年目以上の方の給与を、月額4万円加算
- 採用10年目までの方に、家賃等(月額82,000円上限)を助成

■1,2歳児受入を強化 待機児童の解消へ！

- 1歳児枠拡大の定員構成見直しへ補助拡充
- 1,2歳児受入枠の拡大に加算をモデル実施
- 預かり保育への補助を拡充し、実施園を増設
- 施設改修費用の補助制度を新設

《保育園・幼稚園の受入枠も拡大》
保育所の新設、認可保育所への移行支援などで市内全域で新たに1290人分を確保します。